

# 同窓の訪れ

第 54 号  
編集・発行 村上高等学校同窓会館内  
新潟県村上巽学舎 16番4号  
新潟県村上高等学校同窓会  
TEL (村上) 53-2779  
印刷 株式会社 村上印刷

## 総会・十五年度、参加百六十名となる



女性会員の中に



懇親会は「同窓祭」



ダンス部OG熱詠

### 総会百六十一名の参加

審議・「決算報告」「予算案」を承認、「奨学会の現状」についての説明があった。「総会」に先立つての「理事会」で「予算案・事業計画案」にすでに実施済みの事項が盛り込まれていることについて、「指摘をいただいたが、今後の「課題」として、検討しなければならぬ。

部活公開・午前中に現役との交流試合を済ませた卓球部OBなど「部活の集い」に六十名が参加。後輩のダンス部の伸びやかな演技に若い力を感じ取った。ブラスバンド部の美しく整った演奏も母校への愛着を新たにしてくれた。

ダンス部OG賛助出演・「真吹賀」のアトラクションの後、衰えない演技と若さを披露して「名門、村高ダンス部」を再現していただいたのは、感動ものであった。

講演・矢部徹也氏(三十一回)の「村上茶の魅力について」は、パソコンを利用しての六十分は貴重な内容であった。「村上茶が明治二十年頃、アメリカに輸出されていたこと」「北限の茶処の根拠」など日頃研鑽を重ねられている矢部氏ならではの説得力があった。

### 懇親会 百五十九名参加

会場・大観荘に移動して、五時半より、開宴。「部活」の参加が七十八名に増加、久しぶりの対面

に歓声があがる。女性が二十七名、それに、今までになく、若い同窓の顔も見えて、「魅力ある同窓会」に向けての好スタートとなった。ハーマニ演奏・アトラクションとして、渋谷実氏(二回)の温かく愉快な演奏は、ありがたかった。常々「己を尽くして、楽しく生きる」渋谷氏の姿勢に感謝したい。

福引き・同窓の店舗から格安で提供を受けた景品を「小杉・野沢」の若手理事が、鮮やかにさばってくれた。歌・司会を務めてくれた高橋茂美氏のリードに、渋谷氏の伴奏がついて、青春を取り戻した歌声が大観荘にどよめいた。

### 参加者の声

#### ダンス部

十二回 斉藤 武子

同窓会総会など、日頃無縁なところと過ごしてきましたが、この度の「部活」との案内に乗せられて「ダンス部」からは、十七名も数が揃いました。長時間の「総会」に戸惑いを覚えました。しかし、「懇親会」の始まる頃は、昔日の美女集団の面立ちその儘に、年の差を越えて、練習のこと、試合や顧問の先生の思いに、十七歳に戻ったような「時」を共有できました。また、懐かし「先生・先輩・後輩の方々から親しく声をかけていただきました。私達は今回が初めての参加でしたが、忘れていた「青春の日」にタイムスリップさせていただいた得難い機会となりました。

#### 女子バレー部

四十二回 須貝かおり

初めて総会・懇親会に参加いたしました。木村一美先生が退職されたこともあって、女子バレー

部の世話係として、同僚や後輩に声をかけましたが、期日の少し前に動き始めたので、徹底できず残念でした。「懇親会」で懐かしい方々とお会いでき、とても、良かったと思っています。再びお会いできることを楽しみにしています。

#### 卓球部

十五回 松沢 正

総会当日午前中は、私の子どもよりも若い卓球部員との卓球に戸惑いながらも、心地よい汗を流す。総会では、役員・事務局のご奮闘振りを伺い、これまでの無関心を大いに反省。

総会後、常磐園の矢部徹也さんの講演に故郷村上のすばらしさを再認識するとともに感動。

懇親会・交流会では懐かしい卓球部の諸先輩・後輩にお会いでき感動の連続。私の生きがいの原点は、ここにあり。再見！再見！

### 他校の「総会」

昨年の総会に百六十名に及ぶ参加があり、四十、八十と年毎に前年の「倍数」の増加を喜んでいましたが、他校の「総会」参加数はどんなものかと、調べてみました。「百周年」を迎えた高校に電話取材を試みて、参考になりました。

三条高校、柏崎高校、小千谷高校も例年三百名程度の参加があり、課程は違いますが、新潟商業は多い年は千名、少なくとも六百名で「イタリヤ軒」が賑わうそうです。栗山校長先生の前任校は、毎年百五十名の盛会だったそうです。

まさに、村上高校「同窓会」はこれから充実させなければなりません。会員各位の忌憚のないご意見と参加を衷心よりお願い申し上げます。

### 友よ、語ろう、飲もう!!

#### 新潟県立村上高等学校・「同窓会総会、懇親会」ご案内

- 「総会」
- 一期日 平成十六年十月二十三日(土曜日)午後一時から
- 会場 村上高等学校大体育館
- 議事 平成十五年度事業報告・決算報告  
平成十六年度事業計画(案)・収支予算(案)
- アトラクション 村高ダンス部OG  
母校ダンス部 吹奏楽部等(予定)
- 部活公開 講師 池田 恵一氏(全十四回卒)  
演題 「村上堆朱の今と昔」  
・・・マイクロバス等で移動・・・
- 「懇親会」
- 会場 瀬波温泉「汐美荘」(午後五時開宴)
- 会費 五千円 当日、徴収させていただきます。
- 催し a・長谷川久子氏(全十一回卒)のリードで「思い出の青春歌」の合唱  
b・同窓の店舗からの協力景品「福引き」
- その他 「部活・同期」別の席を設けます。連絡は九月末日まで各代表または、事務局まで。  
懇親会後、十五名以上利用の場合、新発田までマイクロバスでお送りいたします。

### 今年度の「総会・懇親会」について

ダンス部OG、今年も賛助出演決定

昨年、「総会」で見事な演技を披露したOGの方々が、今年も早く出演を引き受けて下さいました。「百周年」を迎えた高校に電話取材を試みて、参考になりました。

家庭や仕事で日々お忙しい中、夏に出席されたばかりの方も加えて、舞台に立たれることになりました。卒業しても、高校時代に培った「特技」を活かされて、充実しておられる姿から、是非、活力をいただきたいと楽しみにしています。

「部活」の集い・昨年度参加いただいた他に、弓道・空手・ソフトテニス・少林寺拳法・登山等や文化系の音楽・生物等にも呼び掛けて、昨年を上回る参加を期待しています。文化系はなかなか思うようにいきません。

是非、同窓会費の納入にご協力をお願いいたします。

## 総会・十六年度、目標三百名参加達成へ



ご挨拶  
村上高等学校長  
栗山 修

今年4月に三条高校へご栄転された丸田校長の後任として、六日町高校から赴任しました。どうぞよろしく願います。

百年を超える歴史と伝統を持つ本校にまいりまして、喜びとともに浅学非才の肩にずしりと重いのを感じている日々です。

堅忍不拔の精神を発揮して、文武両道において築いてきた輝かしい実績と伝統に学びながら、生徒の学力、体力、気力をさらに鍛え、逞しく志を高くもつた卒業生を世に送り出したいと考えております。

5月の新発田支部そして6月の関東支部の総会に参加させていただきました。同窓の方々から温かく迎えていただき、同時に、出席された多くの同窓生が母校や故郷に熱い思いを抱いていることを強く感じて帰ってまいりました。

田端町に移転し三十数年を経た現在の校舎は、この三月に大改修がすべて終了し、装いを新たにしました。百周年記念事業では同窓の皆様から多大な援助をいただき、施設設備が整い、恵まれた環境の中で生徒は勉学に励んでおります。感謝申し上げます。本校の生徒は明るく素直である。元気に挨拶を交わす。遅刻する生徒がほとんどいない。始業のベルとともに授業が開始、放課後になると体育館やグラウンドで一生懸命部活動に励む生徒の姿が見られる。これが赴任して受けた私の印象です。

また今後課題の解決に向け職員一同励んでまいります。同窓の皆様には、これまで同様に母校に変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げます。

ご挨拶  
村上高等学校長  
栗山 修

# 同窓会支部だより

## 新発田支部

新発田支部長代行  
全五回 平方 岩男

今年桜の開花が早く、花びらが舞い始めた四月十八日(日曜)支部総会と懇親会を諏訪町の「豊谷殿」で開催しました。発足から四十二回になろうかと思ひます。

母校から新任の栗山修学務局長のご出席をいただき、会員より、やや盛大な会になりました。



ご挨拶  
村上高等学校長  
栗山 修



栗山校長の挨拶

比較等、五十分聞かせていただき、時を忘れるほど「かつて、校風ありき」を懇親会の「校歌斉唱」では、

支部の歌姫は欠席されましたが、三回卒の小池吉三氏の指揮で、声高らかに歌い、来年の再会を祈念し散会となりました。

最近、人それぞれの価値観が多様化し、「人集め」も「苦勞」、「同じ釜の飯を食った仲」は、遠い昔になってしまったのでしょうか。会費納入は、直接、事務局も可。ただし、水・土・日は休館。

## 中京支部

全九回 大嶋 武夫

中京支部今年度の総会は未だ詳細が決まっています。平成15年度についてご報告します。

これまで名古屋市内で開催してきた総会懇親会を、昨年は6月29日に岐阜市長良川畔の「岐阜卓ルネッサンスホテル」で行いました。

出席は13名(敬称略)。西坂誠三(旧中35)、浅川博(同46)、木村初男(同)、坂野上義(全7)、南摩亨(同)、大嶋武夫(同9)、

佐藤重孝(同13)、鈴木良春(同14)、佐藤隆平(同16)、久世イエ子(同18)、高俊次(同)、佐藤一夫(同)、近藤俊夫(同)。

名簿記載の会員数は180名です。旧制中学の方は、併設中学も含め10名、新制高校になって20回(昭和43年3月)までに卒業された方が95名、昭和の終り40回までに卒業された方が64名、平成の世になつて11名です。



中京支部総会懇親会

今年度の出席率は7%ほどですが、年々減少傾向にあり、10年前にくらべ半減しています。旧中の方がお元気で参加されるのは大変心強い。この数年、18回生ががんばってくれているのもありがたいのです。

が、20回以降卒業の方の参加がありません。会員には返信ハガキ付きで案内状を送りますが、100通ほどは返ってきません。

運動について抜本的に見直し、多くの世代が参加する同窓会にしていきたいと思います。

## 関東支部

全17回 山本 宏平

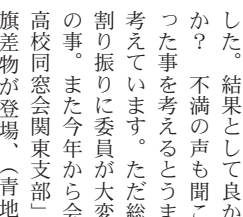
同窓会の皆様こんにちは。私は十七回卒業の山本宏平と申します。この度、関東支部の総会・懇親会の実行委員長を仰せつかり、無事盛会裡に終りホッと胸をなでおろしているところでです。

総会・懇親会は六月十九日土曜日、午後一時から、JR四ツ谷駅すぐ近くの麹町スクワール、「錦華の間」で開催いたしました。加

藤幹司同窓会長始め母校学校長栗山修(十七回卒)氏等の来賓六名を迎え、総勢一二五名の参加のもと、総会の議事進行も手短かにメインの懇親会に入りました。

総会・懇親会については毎年似通った催しですが、今年は何か変わった事をやろうと、宴会時のテーブルを回生毎に分けていたものを、出身地別に分け、例えば「朝日」「山北」「神林」等になりました。結果として良かったかどうか? 不満の声も聞こえて来なかつた事を考えると、まあ行つたところからいいます。ただ総会直前まで割り振りに委員が大変であったとの事。また今年から会場に「村上高校同窓会関東支部」と銘打った旗差物が登場、(青地に白抜き文字)会場のごとくどこに五本置

き、さすがに統一的な高校を思わせる雰囲気となりました。



校歌を高らかに

常連であった旧中卒の大先輩が高齢のために出にくくなったり、亡くなられた方もおられることが大きく影響していると思います。その他、仕事の関係で当地に勤める方もおられるのですが遠慮して出てこれないのかなあと考えています。

「集まれば楽しい」こんな総会に如何に多くの方から参加していたかだけを真剣に考えています。まず、長岡地域に定住する方々を確認し、名簿をつくることから始めようか。そして、「長岡地域には、こんな人々が居られたのか、会ってみたい」という懐かしさの気持ちから会に出席し、互いに親しみを増すというような会にしたいなどと思

ついでに、

## 長岡支部

全四 成田 実

総会の参加者が年々減少し、案内状を出しても返答のない会員が半数もいて困惑している現状です。

常連であった旧中卒の大先輩が高齢のために出にくくなったり、亡くなられた方もおられることが大きく影響していると思います。その他、仕事の関係で当地に勤める方もおられるのですが遠慮して出てこれないのかなあと考えています。

「集まれば楽しい」こんな総会に如何に多くの方から参加していたかだけを真剣に考えています。まず、長岡地域に定住する方々を確認し、名簿をつくることから始めようか。そして、「長岡地域には、こんな人々が居られたのか、会ってみたい」という懐かしさの気持ちから会に出席し、互いに親しみを増すというような会にしたいなどと思



時々は情報交換(幹事のみならず)

ついでに、

当番幹事 加藤 登代(16)

佐藤 貞治(6)

中村 順治(16)

木ノ瀬 勉(36)

部活代表者 倉崎 廣一(3)

卓球 小田 兼人(26)

竹内 守 柔道 斎藤 武子 ダンス

小野 峯生 バドミントン 松田 啓子 ダンス

本間 雄一 陸上 藤井 一男 野球

和田 吉夫 バスケ 小田 兼人 ソフトテニス

山田 茂也 登山 加藤 昌勝(4)

飯沼与三(13)

山井 明生(13)

関川支部

恒例の関川支部総会・懇親会は今年2月7日(土)、平田大六関川村長を来賓とし、高瀬温泉「ますや旅館」で開催しました。集いしメンバーの面々は、



青春遠からず 稲家 誠(28) 廣 (28)回、 渡辺衛 (34) 回、 田村清 (43)回、 洋 (43)回、

高橋支部長は本部と奨学会館の状況を詳しく報告され、また母校をとりまく情勢について述べられました。平田村長は村高PTA会長を勤められ功績があらわれたので、経験を踏まえたお話をさせていただきました。

掲示板

「百年史」刊行年度内の予定

「百年史」刊行年度内の予定 「百年史」刊行年度内の予定 「百年史」刊行年度内の予定

奨学会館の問題その後

「同窓の訪れ」の前号にもお知らせいたしました「土地の一部売却」は、未だ不成立で会館の維持管理の捻出に、さらに困難が加わりました。

そこで基本財産の一部である国債の一部取崩しについて、主務官庁である教育庁に再度申請したところ三千万円の半分を取り崩すことができず、しかし、この二年間以内に「奨学会館の在り方」について、基本線をしっかりと示す必要があります。

役員改選「常任理事」にどうぞ!

「会則」に則り、三年の任期が過ぎますので、「常任理事」の約半数を新しく選出することになります。

卒業担任より一言

皆さんお元気ですか?新しい環境はどうですか? 楽しい? 慣れた? 皆それぞれ頑張っていることでしょうか。多少なりとも無理して

卒業して、それぞれの道を歩み始めています。この先、必ずしも自分の思うとおりにいなくなっても初心を忘れずに粘り強く努力をしてみてください。やろうという意志があれば大丈夫です。あとは諦めずにやり続け

運動部結果



- 北信越大会 男子柔道部 ベスト16 中村拓馬 個人戦 66kg以下級

物故会員名

Table with columns for member name, date of death, and age. Includes names like 渡辺 幸子, 渡辺 美智子, 中村 行善, etc.

# 母校だより

## ◆本校

平成十五年度は、二百五十一名の生徒が卒業し、同窓会に加えていただくとともに、それぞれの進路へと新たに出發しました。詳しい進路先については、別稿をご覧ください。ただこのようにして、四年制の国立大への進学を新潟大学の十六名を含む三十四名と大きく伸ばすなど健闘しました。卒業生のこれからのますますの活躍を期待したいと思います。

また、四月には新たに二百八十二名の新入生を迎えスタートしました。本年度は志願者が大幅に増えて、推薦入試では二・二倍、一般入試では一・二倍となり、ここ数年続いてきた定員割れの状態から一転して高倍率となりました。地域の中学生及び保護者の方々の村高へ寄せる期待を感じるとともに、職員一同その期待に応えていきたいと思っています。

村高生は伝統的に「文武両道」ということで部活動にも一生懸命に取り組んでおり、今年度は団体では男子バレーボール部が、個人では陸上部と柔道部がそれぞれ、北信越大会まで駒を進めることができました。また、加藤同窓会長からは来校していただき、選手へ激励していただくことができました。

ところで、昨年このたよりで校舎の全面改修が終了し、この地へ転移以来の校舎も一新されたことを報告してきました。本年度は、それを受けて恒久的な設置が可能となったことで、PTAのご協力、総ての普通教室にクーラーをリース方式で設置しました。この稿を書いている七月中旬も暑い日が続いているのですが、その中でも勉強に集中できる環境が整いました。感謝申し上げますとともにご理解とご支援に応え、より一層の村高の教育の充実を図っていく所存です。

## ◆山北分校

山北分校の平成十五年卒業生は二十六名でした。その進路状況は、県内短大が一名、県内専門学校が九名、県内就職者が八名、未就職者が八名でした。

今年度からの生徒募集は停止となり、平成十八年三月をもって閉校となります。昭和二十三年に定時制大川谷分校としてスタート以来、五十八年、約千九百名のすばらしい人材を輩出した分校の歴史が、その教育的使命を終えて幕を下ろします。平成十七年秋には分校同窓会を中心に閉校記念式典を

## 国公立大・躍進 進路指導部

### 〈卒業生の状況〉

この春の本校卒業生の進路状況は、下記の表に示す通りです。概観しますと、国公立大学に34名進取りました。昨年の21名と比較して50%の上昇となりました。センター試験の試験科目数が7科目と増え、科目負担も厳しくなりました。また、不況下、学費の安い国公立大学の人気は堅調です。この不利な状況のもとで、実によく健闘してくれました。好結果を出した理由としては、一つは、一昨年度より導入した河合塾の衛星放送講座の講座がやっとなつたこと、もう一つは最後まで諦めずにねばり強く学習に取り組んだことがあげられます。私立大学に関しては、日大・東海・専修大学など中継大

学を中心に進学しています。また、短期大学・専門学校では地元公立短大や看護系専門学校への進学が目立ちます。不況の影響と実学志向が反映しているのでしょうか。就職に関しては、民間・公務員いずれも厳しい状況が続いて、景気

計画しておりますので、ご理解とご支援を賜れば幸いです。

さて、本年度は二年生と三年生の五十五名が始まりました。地元山北中学校出身者が二十四名朝日中学校出身者が九名、村上市内中学校他出身者が二十二名となっています。学校生活も落ち着いており、生徒は学習に行事に取り組んでいます。

五月には生徒会企画の校外行事が計画されましたが、あいにくの雨天で、急遽校内での調理実習やリクリエーションに変更になりました。また、PTA総会にあわせて公開授業が実施されました。三年生は山北町企画観光課と連携し、町内事業所見学をして進路学

### 〈在校生の状況〉

さて、現在の在校生は、昨年から、PTAのご配慮で各教室にクーラーが設置され、生徒は快適な環境のもとで勉強に励むわけですが、快適な環境に甘んじることなく、自らの学力向上をめざして、自らがんばって考えております。学習環境が整い、かつ学校側がきめ細やかに、より多くの学習機会を提供していく中で、逆に生徒の自主性や自立性が失われているように感じられます。かつての村

上高校の生徒はバンカラ気質が残っていて、時には羽目を外す生徒も多かったと聞いております。しかし、このような猛々しい風情が良い方向に出て一心不乱に学習に取り組む、進学において好結果につながっていったそうです。しかし、現在の生徒は、これは村上高校に始まったことではないかもしませんが、全体的にスマートフォン化、受験勉強も進路指導もシステム化される中で、生徒の精神的強靱性、進路決定の際の「野性的判断力」が失われていると感じます。この

習の一助としました。六月には、晴天のもと体育祭が行われ、生徒の歓声が山北の青空に響き渡りま

した。七月には、球技大会や各種の講話、ボランティア活動が予定されています。

このように、分校では行事一つ一つに、生徒が必ず役割を持って取り組んでいかなくては成り立ちません。人と人の関わり方から完成の喜びの体験を通して、充実した学校生活が送れるよう、またきめ細やかな学習指導を通して、社会に出ても通用する力の育成に職員一同努力したいと思います。同窓会の皆様をはじめ、地域、保護者の皆様の一層のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

ような一般的な問題を憂いても仕方がないのですが、この風潮の中で受験競争を勝ち抜き、目的の大学に入ったとしても、果たして満足のか心配です。村上高校の生徒はそうあって欲しくはないのですが、現実には厳しいのがありますが、このままでは村上高校も個性化して、生徒が規格品となっていくか心配です。新たな学習指導・進路指導の枠組みを考えなければならぬ時期に来ていると考えております。

### 平成16年度の進路状況

種別	国公立大	私立大	国短大	私立短大	専門学校	公務員	民間就職	浪人	その他	合計
男	20	47	0	1	17	1	3	38	1	128
女	14	44	10	12	27	0	3	10	3	123
合計	34	91	10	13	44	1	6	48	4	251
%	13.5	36.3	4.0	5.2	17.5	0.4	2.4	19.1	1.6	100

## 平成15年度村上高等学校同窓会収支決算書

(平成15年8月1日から平成15年7月31日)

収入の部		予算額	決算額	比較	内訳
会費	5,540,000	6,550,000	-1,010,000	入会金 2,000 × 270名 = 540,000 会費 2,000 × 2,500名 = 5,000,000	
雑収入	1,000	1,000	0	預金利息等	
寄附金	3,000	3,000	0		
前年度繰越金	2,332,766	2,365,559	-32,793		
計	7,876,766	8,919,559	-1,042,793		
支出の部		予算額	決算額	比較	内訳
会議費	160,000	160,000	0	総会・理事会・支部総会	
事務費	1,010,000	1,077,000	-67,000	支部総会等出席旅費・事務補助等 コピー用紙等事務用品 100,000 郵便料・電話料・往復はがき (部活・同期総会案内) 複写機リース代 110,880 インターネット代 24,444 ホームページサーバ使用料 年間 12,600 会費振替手数料・支部会費徴収還元金	
(人件費)	450,000	450,000	0		
(消耗品費)	100,000	200,000	-100,000		
(通信費)	160,000	70,000	90,000		
(使用料)	150,000	157,000	-7,000		
(会費徴収事務費)	150,000	200,000	-50,000		
事業費	2,761,000	2,861,000	-100,000	H15年度分(16年9月発行) 訪れ発行代 22,000 払込取扱票 115,500 審判封筒 200,970 データメンテナンス 52,500 取扱票出力・封入封緘等 415,800 郵送料 1,531,200 訪れ印刷代 244,860 文化講演 100,000 総会講師謝礼 30,000 公開演技術謝礼 45,000(3クラブ) その他 25,000 (総会懇親会景品等)	
(行事部)	200,000	300,000	-100,000		
助成費	1,600,000	2,100,000	-500,000	全国大会等出場旅費 200,000 生徒会活動支援 300,000	
(生徒会活動補助)	500,000	500,000	0		
(分枝助成)	100,000	100,000	0		
(奨学会)	1,000,000	1,500,000	-500,000	同窓会館修繕等 記念事業積立金	
積立金	300,000	300,000	0		
雑費	30,000	30,000	0		
予備費	2,015,766	2,391,559	-375,793	H15年度決算書(注)のとおり、H16年度分(17年9月発行予定)の訪れ発行代として繰越金になる予定の額	
計	7,876,766	8,919,559	-1,042,793		

## 平成16年度村上高等学校同窓会収支予算書(案)

(平成16年8月1日から平成17年7月31日)

収入の部		予算額	前年度予算額	比較	内訳
会費	5,540,000	6,550,000	-1,010,000	入会金 2,000 × 270名 = 540,000 会費 2,000 × 2,500名 = 5,000,000	
雑収入	1,000	1,000	0	預金利息等	
寄附金	3,000	3,000	0		
前年度繰越金	2,332,766	2,365,559	-32,793		
計	7,876,766	8,919,559	-1,042,793		
支出の部		予算額	前年度予算額	比較	内訳
会議費	160,000	160,000	0	総会・理事会・支部総会	
事務費	1,010,000	1,077,000	-67,000	支部総会等出席旅費・事務補助等 コピー用紙等事務用品 100,000 郵便料・電話料・往復はがき (部活・同期総会案内) 複写機リース代 110,880 インターネット代 24,444 ホームページサーバ使用料 年間 12,600 会費振替手数料・支部会費徴収還元金	
(人件費)	450,000	450,000	0		
(消耗品費)	100,000	200,000	-100,000		
(通信費)	160,000	70,000	90,000		
(使用料)	150,000	157,000	-7,000		
(会費徴収事務費)	150,000	200,000	-50,000		
事業費	2,761,000	2,861,000	-100,000	H15年度分(16年9月発行) 訪れ発行代 22,000 払込取扱票 115,500 審判封筒 200,970 データメンテナンス 52,500 取扱票出力・封入封緘等 415,800 郵送料 1,531,200 訪れ印刷代 244,860 文化講演 100,000 総会講師謝礼 30,000 公開演技術謝礼 45,000(3クラブ) その他 25,000 (総会懇親会景品等)	
(行事部)	200,000	300,000	-100,000		
助成費	1,600,000	2,100,000	-500,000	全国大会等出場旅費 200,000 生徒会活動支援 300,000	
(生徒会活動補助)	500,000	500,000	0		
(分枝助成)	100,000	100,000	0		
(奨学会)	1,000,000	1,500,000	-500,000	同窓会館修繕等 記念事業積立金	
積立金	300,000	300,000	0		
雑費	30,000	30,000	0		
予備費	2,015,766	2,391,559	-375,793	H15年度決算書(注)のとおり、H16年度分(17年9月発行予定)の訪れ発行代として繰越金になる予定の額	
計	7,876,766	8,919,559	-1,042,793		

(注) 決算は7月末。総会が10月に延期されたことに伴い訪れの発行も9月になり、その経費を繰り越すため繰越金が多額になっている。

(記念事業費)